

## 【3年連続助成後に「新規申請事業」として申請する場合の留意点】

寄附者の共感が得られ、広く地域に期待される効果が見込まれる事業に助成する観点から、同一事業の助成は連続3年までとさせていただきます。

その後、「新規申請事業(※)」として申請される場合は、下記のような留意してほしい「視点」を加えた事業内容での申請をお願いします。

※「新規申請事業」とは

同一団体による連続申請であっても、事業の目的、対象、手法、実施体制などのいずれかにおいて、前回助成事業と明確な違いが認められ、得られる成果についても差異が見込まれるものをいう。

単なる事業の継続、規模拡大、回数増加等は新規事業とはみなさない。

### <留意してほしい「視点」>

- ・活動を通じて主体性を育む活動
- ・交流を通じて絆を育む活動（新しい参加者の獲得）
- ・多様な方々の参加を促す活動（持ち味や得意なことを生かす）
- ・悩みごとや困りごとを把握する機会となる活動
- ・新たな地域課題の解決につながる活動
- ・孤立や孤独の予防となる活動

### 【参考】上記の「視点」を加えた具体例（「健康講座」の場合）

前回実施した事業	健康維持のための健康講座を開催し、会員のほか、地域の高齢者へも参加を呼びかけて交流を図った。
今回助成申請する事業内容（新規申請事業）	前回実施した健康講座の事業に、 <u>高齢者の見守りや支え合いの視点を加え、地域の福祉事業所などに協力を得て相談の場を設ける。</u> 健康講座に参加するだけでなく、困りごとの相談をすることで、 <u>孤立防止や地域の支え合いの促進を図る事業として実施する。</u>